

## 解析学概論 解答例

2012.06.25

問1  $X = \mathbb{N}_0 \times \mathbb{N}_0$  上の二項関係  $\sim$  を

$$(n, m) \sim (n', m') \iff n + m' = m + n'$$

により定義するとき,  $\sim$  は  $X$  上の同値関係であることを示せ. また, 同値関係  $\sim$  に関する  $(n, m)$  を代表元とする同値類を  $[(n, m)]$  と表すとき, 各  $n \in \mathbb{N}_0$  に対して同値類  $[(n, 0)]$  および  $[(0, n)]$  を内包的記法を用いてできるだけ簡単に表現せよ.

(解)  $\sim$  が同値関係であること (i) 交換法則より  $n + m = m + n$  となるので,  $(n, m) \sim (n, m)$  が成り立つ. (ii)  $(n, m) \sim (n', m')$  とする. 定義より  $n + m' = m + n'$  であるから, 交換法則より

$$n' + m = m + n' = n + m' = m' + n$$

となり, 定義より  $(n', m') \sim (n, m)$  が成り立つ. (iii)  $(n, m) \sim (n', m')$  かつ  $(n', m') \sim (n'', m'')$  とする. 定義より  $n + m' = m + n'$  かつ  $n' + m'' = m' + n''$  であるから, 結合法則と交換法則より

$$\begin{aligned} (n + m'') + m' &= (n + m') + m'' = (m + n') + m'' = m + (n' + m'') \\ &= m + (m' + n'') = (m + n'') + m' \end{aligned}$$

が得られる. 簡約法則より  $n + m'' = m + n''$  となり, 定義より  $(n, m) \sim (n'', m'')$  が成り立つ. 以上より, 二項関係  $\sim$  は  $X$  上の同値関係である.

同値類  $[(n, 0)]$  および  $[(0, n)]$  の表現 集合  $A$  を

$$A = \{ [(n + k, k)] \mid k \in \mathbb{N}_0 \}$$

とおくとき,  $[(n, 0)] = A$  であることを示す. 任意の  $k \in \mathbb{N}_0$  に対して,  $n + k = 0 + (n + k)$  より  $(n, 0) \sim (n + k, k)$  であるから,  $(n + k, k) \in [(n, 0)]$  が成り立つ. したがって,  $A \subset [(n, 0)]$  である. また, 任意に  $(k, \ell) \in [(n, 0)]$  をとる.  $(k, \ell) \sim (n, 0)$  より  $k = k + 0 = n + \ell$  であるから,  $(k, \ell) = (n + \ell, \ell) \in A$  となる. したがって,  $[(n, 0)] \subset A$  が成り立つ. 以上から,  $[(n, 0)] = A$  となる. 同様に,

$$[(0, n)] = \{ [(k, n + k)] \mid k \in \mathbb{N}_0 \}$$

であることが示せる. ■